

# 視聴覚教育

NO. 480

発行日

R5. 3. 6

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？ 「サイネット」

国立情報学研究所 (NII) が運用する超高速ネットワーク。安定した遠隔・オンライン教育の実現やオンラインコンテンツのスムーズな利用などを想定し、小・中学校での将来的な活用を目指して実証研究が行われている。岡崎市もその実証研究地域の一つである。

## !! 視聴覚教育あれこれ !!

### ● 自作視聴覚教材が完成しました

「おかざき映像教材研究会」制作の教材が完成しました。今年度は、理科教材が一本、社会科教材が二本、道徳科教材が一本、制作されました。いずれの教材も学習での使いやすさを考えて作られていますので、積極的に御活用ください。

### ● 作品・班員の紹介

**A班**「どうしてその色？ ～身近な生き物たち～」

神谷明彦 (三島小) 服部将也 (豊富小) 杉山康子 (常磐小)

中山美奈子 (竜南中) 川合隆広 (常磐中) 星野雄大 (南中)

矢部貴司 (矢作西小) 太田尚志 (藤川小)

**B班**「松藤寺横丁 ～また来たくなる町を目指して～」

忠内亮太 (大門小) 鈴木広樹 (矢東小) 杉下尚 (美川中)

藤渕俊旭 (新香山中) 畔柳駿 (城南小) 駒月亮 (六北小)

中西悠 (豊富小) 内田雅之 (岡崎小)

**C班**「ボン菓子でアフリカを救え ～家田製菓の挑戦～」

鈴木一史 (竜海中) 水野利明 (矢作中) 鈴木俊宏 (男川小)

青山夕菜 (羽根小) 山本悠司 (矢作北小) 峯澤泰季 (井田小)

太田信 (東海中) 飯田将太 (竜海中) 佐渡英彰 (広幡小)

**D班**「僕はゆーととして生きる

～性別をこえた自分らしさ～」

岩川皓司 (竜南中) 鈴木奈穂子 (新香山中)

鈴木由理 (小豆坂小) 石谷遼一 (生平小) 浅井悠輔 (恵田小)

長谷川誉幸 (矢作中) 廣藤静香 (大門小) 河合泰宏 (東海中)

## 活用と前提

羽根小学校 校長 岡 秀之

本校では、「スフィロミニにダンスをさせたよ」「スフィロで図形を描いたよ」など、楽しく学びに向かう児童の声を耳にする。中には、プログラミング学習の授業を楽しみに、登校してくる児童もいる。これは、テロアやスフィロミニなど、さまざまなプログラミング教材が本校にそろっていることが理由の一つであろう。今年になり、このプログラミング教材を授業で使うため、他校からの問い合わせが増えた。プログラミング学習で、創造的に学ぶ児童が岡崎に増えていくことは、うれしい限りである。

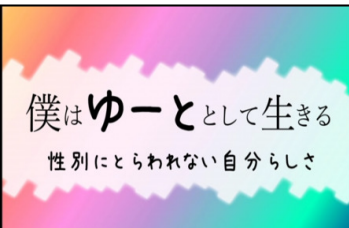
つまり、電子黒板は、児童・生徒の思考を可視化する道具としても、有効に活用できると言える。プログラミング教材やタブレット端末、電子黒板は、児童・生徒・教師にとって魅力的な道具である。魅力的ではあっても道具である以上、有効に活用してこそ価値がある。大切なのは各教科の目標達成のために「どのよう道具を活用するか」、児童・生徒の実態に即して「どう工夫して活用するか」である。今年度も、タブレット端末や電子黒板といった道具を有効活用し、児童・生徒が主体的に学ぶ授業が多く見られた。生き生きとした学びの姿が見られることは、うれしい限りである。

最後に、文科省から発信されるGIGAスクール構想には、「クラウド」ということが数多く使われている。タブレット端末の使用を学校だけに留めず、家庭に持ち帰ってクラウドを活用することで、「どこでも学びたいときに学べる」という学びの多様化を目指しているのだ。これが実現すれば、児童・生徒の主体的な学びは大きく推進されるであろう。そのためには、情報モラル教育に留まらず、児童・生徒のデジタル・シテイズンシップを高め、善き社会の担い手として育んでいくことが前提にあることを忘れてはいけない。

## ～作品の紹介～



C班「ボン菓子でアフリカを救え！」



B班「僕はゆーととして生きる」

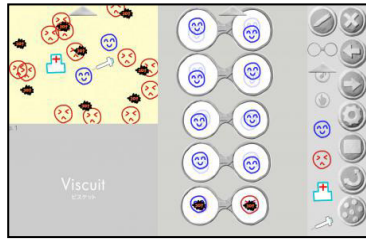
## 実践報告Ⅱ

### 特別活動「コロナウイルスの予防策に取り組み、病気に負けない元気な体と環境をつくろう」

奥殿小学校 阿路川昌宏

特別支援学級の特別活動で「コロナウイルス感染症」の授業を行った。

まず、プログラミング学習アプリのビスケットを使用し、コロナウイルス感染が拡大するシミュレーションを体験した。児童は、爆発的に感染が広がる様子を視覚的に捉え、コロナウイルスに対する理解を深めることができた。また、ワクチンを打ったりマスクを



付けたり、病院に行ったりすることで、増加を抑えられるシミュレーションを体験し「人と人が接触したらどんどん感染する」「マスクなどの予防をすれば増加を抑えられる」などの意見が上がった。

続いて、感染防止策について考えた。手洗い・うがい・マスク・換気・消毒・加湿・水分補給・運動する・早寝早起き・規則正しい食生活など様々な意見が飛び交った。まとめとして「感染しないために予防策をしっかりすることが大事」「規則正しい生活をして、病気に負けない元気な体を作ることが大切」などの意見が出された。

実際には肉眼で見ることができないウイルスを、アプリ使用により視覚化でき、感染の状況、予防や対処方法を考えることができたのが効果的であった。児童の危機意識を高める良い機会となった。

## レッツ・トライ！情報モラルⅡ

### 情報モラル「〇〇いぞん」

岩津小学校 土屋 翔平

小学校一年生の道徳の授業で、「ネット依存」について考えた。「事例で学ぶ Netモラル」を活用し、ネット依存に陥っていく過程や様々な依存について、児童の生活経験をもとに考えた。

まず、「事例で学ぶ Netモラル」の動画を視聴し、問題に取り組んだ。その後で、「つついやりすぎてしまうことはないかな」と質問した。児童から、「つついやお菓子を食べすぎてしまう」や「つつい友達と遊びすぎてしまう」などの意見が挙がった。



そこで、ネット依存も「つついやりすぎてしまう」が故の症状であることを説明した。そして、児童たちと「おかし いぞん」、「おともだち いぞん」と依存してしまふことに名前を付け、依存しないためにどうしなければいけないかを考えた。

その後、ネット依存について「ゲームは〇分だけ」や「リビングだけでやる」といった家庭の決まり事を振り返った。そして、児童たちは家庭にある決まり事は、長く使用することによる健康被害から自分を守るためだと考えることができた。

依存するものが多くなっている現代。ネットと現実を切り離すのではなく、ネット上で起きることと現実で起きることが、密接に関係していることを理解できるように題材を扱っていく必要性を強く感じた。

## ライブフリーだよ

### ●本年度購入の新規貸出用DVD教材の紹介

#### ◇情報モラル教育関係

・小学生のための情報モラルDVD教室

ネットのルールとマナー (15分)

ネット被害にあわないために (20分)

#### ◇道徳関係

・わたしと人権 1・2巻

#### ◇交通安全

・安全快適！サイクルライフ

#### ◇児童文学

・大造じいさんとガン

・ごんぎつね

・ちいちゃんのかげおくり

・ぞう列車がやってきた

(20分) (20分) (14分) (80分)

今年度は児童文学教材の充実を図ることができました。ここで紹介した以外にも含め、令和五年四月から貸出できるよう準備を進めています。皆様方の積極的な御利用をお願いします。

### ★編集後記★

おかげさつ子展、理科技家作品展といった教育行事の復活など教育現場で平時への移行が始まった今年度、視聴覚ライブラリーも三年ぶりに親子映画会を実施できました。実施に協力いただいた先生方にあためしてお礼申し上げます。

令和五年度は、平時への流れがより加速されると思われまふ。今後も視聴覚ライブラリーは先生方のご協力を賜りつつ、有益な情報を発信することと視聴覚・情報教育の進化に役立てるような月報作りを引き続き行ってまいります。